

本校の生徒通信及び生徒の活動状況の一部をお知らせします。

9月2日（月）発行予定の生徒通信です（今回は自転車通学に関する事項を取りあげました）

～みんなが心地よい学校生活を送るために～

夏休みに八つた直後に新聞などで報道された、大変痛ましい事故。残念でなりません。

《自転車運転中の高校生被害死亡事故の概要》

平成25年7月19日（金）、札幌市北区篠路9条1丁目6番先路上において、27歳男性が運転する普通貨物車がT字路交差点を左折する際、交差点を横断中の自転車と衝突し、自転車運転中の男子高校生1名が死亡したものと。

この他にも、通学中の市内の高校生が乗用車と衝突してけがをする事故は、多数報告されています。その事例の多くは、

▼安全確認をせずに広い道路や交差点に飛び出し、自動車と衝突!

▼一時停止標識を無視して飛び出し、自動車と衝突!

▼横断歩道を渡らずに、自動車と衝突!

▼歩道を通行中、駐車場などへ出入りする自動車と衝突!

学校を一步出れば、このような場面ばかりだと思いませんか？

みんなが知っているとおり、この旭丘高校は下校時、校門から一気に下ることができる急な坂道です。まっすぐに下れば通行量の多い道路（山麓通り）と合流して、さらに下り続けます。慎重にブレーキをかけながら運転しなければ、スピードは怖いくらいに出過ぎてしまいます。

すでに今年もこの経路だけで、3件の転倒事故（骨折）と、自転車同士の接触事故が起きています。

“ひやっ!”としたり、“はっ!”としたことのある生徒は、少なくないはずです。

“ああ危なかった”と安心しては、いつか取り返しのつかないことになってしまいます。

そして、君たちだけではないのです。

この坂道沿いに住んでいらっしゃる方々や、通勤などで自動車を利用されている方々も、かなり頻繁に恐ろしい思いをされているのです。

「歩いていたら、急に猛スピードで2台の自転車がすぐ横を走り抜けていった」

「子どもが、自転車とぶつかりそうになった、と泣きながら走って帰ってきた」

「車で車庫を出ようとしたら、車のすぐ前を自転車が猛スピードで横切った」
相手の立場になって、想像してみてください。

もしも、衝突してしまったら・・・。

～みんなが安全に、安心して高校生活を送れることを願っています～

【南警察署からの依頼による地域安全啓発CD作成のお知らせ】

南警察署では犯罪被害防止のために、地域住民の防犯意識を啓発するためのCDを作成することになり、本校放送局が被害抑止のための広報文朗読を依頼されました。

内容は、○路上強盗、強制わいせつ被害の防止 ○自転車・オートバイ盗難被害の防止
○自動車盗難・車上ねらいの被害防止 ○「安全・安心どさんこ運動」の普及・促進に関するものです。完成後は地下鉄駅・スーパー等に配布し、広報活動を行うことになっています。